

【入学試験全般について】

Q 1 補習校では、なぜ入学試験を行うのですか。

本校においては教員数の増減により学級数が確定し、教員数の維持・確保が容易でない状況であるため、入学希望者全員を受け入れることができません。

また、本校は短時間で[日本の学習指導要領に準拠した国語科の学習を行っています](#)ので、「入学資格」（国語力、態度ともに本校での一斉授業に支障がないこと）を確認するためにも入学試験を行います。以上のように、本校では様々な規制により受入人数に限りがあるため、優秀なお子さんであっても入学が許可されない場合があることをご理解ください。

※日本の国語教材は日本語が母語であることを前提に作られているため、日本語が母語として育っていない子どもや日本語以外が母語になっている子どもにとっては、本校が適切な学習機関とはなり得ない場合があります。

※試験を行うということは必ず結果が伴います。子どもによっては、入学不可とされることで心に傷を負う場合もあるでしょう。また、めでたく入学が許可された場合でも、本校で学習を継続するためには、お子さん自身はもちろんのこと、保護者の方にもがんばっていただく必要があります。本校の入学試験や学習スタイルが、お子さんの性格やご家庭の状況に合っているかどうかということも含め、入学試験への出願をご検討ください。

Q 2 各学年の募集人数は何名程度ですか。

新小学1年生は例年50～60名の受入れを行うよう努力していますが、実際に何名の受入れが可能かどうかは、次年度の教員数及び現在在籍している児童生徒の動向と、入学試験の結果によります。

また、新小学2年生以上は、4月入学であっても年度途中入学であっても欠員補充としての受入れになります。教員数や児童生徒の在籍数によって状況が変化するため、厳密に何名募集するとは言いがたいことをご理解ください。

Q 3 入学試験の日には事情があり来られません。別の日に試験をしてもらえますか。

できません。入学試験に欠席の場合は、その理由に関わらず受験辞退とみなされます。

Q 4 入学試験の日に保護者が同伴できません。代理の者が付き添って入学試験を受けさせても良いですか。

保護者面接で保護者の方に確認させていただくことがありますので、必ず保護者の方がお越しください。

Q 5 2月の入学試験に不合格だった場合、どうしたらいいのでしょうか。

本校では、年度途中は6月と10月に編入の機会を設けているので、それに合わせて受験をしていただいても構いませんし、翌年に受験していただくことも可能です。

Q 6 不合格の場合、何が原因なのか、どの分野を強化すべき等のアドバイスは貰えますか。

結果についてのフィードバックやアドバイスは行っていません。